



学校だより (20)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591

◇<http://www.hjschl.org>

◇e-mail info@hjschl.org

日米の架け橋、真の国際人になるために

校長 福原輝幸

人は皆、個人の基準を持ち、個人の基準で判断しがちです。

しかし、友好・国際交流・国際親善が、今を生きる人間にとって必要不可欠なことですか、地球基準に立って判断し、行動できる力を身につけておくことが必要とされます。

つまり、真の国際人になることが大切な時代となっています。では、真の国際人になるためには、何が必要なのでしょうか。

それは、まず「世界の出来事に関心を持つこと」です。日本人の多くは、旅行、生活そして仕事で、海外に出かけるようになりました。しかし残念ながら、心理的・精神的には、

まだまだ日本は世界から孤立した状態にあります。世界の出来事に関心を持ち、世界の人々との精神的な心のつながりを太くしなければなりません。

二つは「自分の意見を持ち、これを堂々と発表出来るようになること」です。日本人は、往々にして白と黒に分かれて議論を重ねると、必ず灰色で妥協(だきょう)を図るという発想(はっそう)になりがちです。

勉強とは、先生や教科書の教えを覚えることではなく、自ら考え、判断し、行動出来るようになること。つまり一人の人間として生きていけるようになることです。また、自分の意見がたとえ少数意見であっても、自らの意見として堂々と述べるように心がけたいものです。

三つは「人権問題に敏感(びんかん)でなければならぬこと」です。人は「暗いところにいれば、明るいところはよく見えるが、明るいところからは、暗いところはよく見えない」との言葉があります。

じっくりとかみしめたいものです。

四つは「平和の問題にもっと関心を持つ必要があること」です。「戦争のない状態が平和ではありません」といった新渡戸稲造(にとべいなぞう)博士の言葉は極めて奥深い言葉です。戦争こそが「最大の差別であり、人権侵害であり、人殺しであること」を忘れないようにしたいものです。

扉を開けて

折原 ひと

扉を開けて 中へおはいいり。
扉を開けて 過去をのぞいて。
扉を開けて 未来をごらん。

世界は素敵なWONDERLAND

小さな手には のらないおもちゃ箱。
知らないことは たくさんあるけど
知らないことは うれしいこと。
これからいっぱい
お楽しみがあるんだからね。

扉を開けて。
扉を開けて。
知らない世界へでかけよう。

< お知らせ >

9月12日は運動会のため、学校だよりは配布出来ません。一週早く届けます(裏へ)